

令和8年度 東京都立武蔵村山高等学校 学校経営計画

1 目指す学校像

スクールミッション

「大愛に生きる人であれ」を教育目標とし、地域行事へのボランティア参加や近隣小学校との交流などを通じて地域と密接に連携する教育活動を通じて、高い規範意識を持ち地域に貢献する人材を育成します。

グラウンドデザイン

目指すべき生徒の将来像

「真に自立し社会で活躍できる人間」

学校の教育活動全体を通して育成すべき資質・能力

- 「生きる力」の基盤である、基本的生活習慣
- 時を守り、場を清め、礼を正すことを軸に、自律した人間となるための、規範意識
- 自らが考え、選択し、取り組む、主体性
- 主体的に他者の意見を聴き、「知る」「学ぶ」「考える」「伝える」の基盤となる、傾聴力
- 物事の結論を導く過程において、「なぜ」「本当にそうなのか」と批判的に問うことで納得のいく結論に到達するための、批判的思考力
- 失敗を恐れず、高みを目指して自分の力を最大限伸ばそうと挑戦する、可能性を信じる力
- 様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるための、協働してより大きな成果を創造する力

2 中期的目標と方策

目指す学校像を基に全教職員一丸となって取り組むために、以下4点を中期目標とする。

目標1 「新しい教育のスタイル」を軸とした授業改善

目標2 「ありたい自分の実現」に向け、3年間を見通したキャリア教育活動の確立

目標3 「主体的に社会の形成に参画」できる人材を育てるための学校生活の実現

目標4 「学校力の強化」のための組織的学校の運営の強化

3 中期的目標に対する方策

目標1 「新しい教育のスタイル」を軸とした授業・学習改善

- ① 生徒が主体的に取り組む授業の工夫改善に取り組む。
- ② 一人1台端末を用いた、一人一人の生徒の学びを中心とした授業を実践する。
- ③ 豊かな国際感覚の育成するため、英語教育を推進する。
- ④ 長期休業中などに補習・講習を行い、生徒の学習意欲の向上を図る。
- ⑤ 総合的な探究の時間において地域の企業等と連携した探究を実施する。

目標2 「ありたい自分の実現」に向け、3年間を見通したキャリア教育活動の確立

- ⑥ 3年間を見通した進路指導計画を見直し、進路指導部主導の進路活動・進路行事を組織的に行う。
- ⑦ 1年次から計画的な進路指導を行い、生徒の進路に対する意識向上を図る。
- ⑧ スキルアップ推進校事業を活用した職場体験（ジョブキャンプ）を実施する。
- ⑨ 模試やスタディサポート、定期学力考査などを教職員が分析し、そのデータ活用した進路指導を行う。
- ⑩ 保護者会や進路講話等の進路行事において積極的な情報発信をする。

目標3 非認知能力を高め、「主体的に社会の形成に参画」できる人材を育てるための学校生活の実現

- ⑪ 社会人として基本となる生活習慣、規範意識の醸成を学校生活全般において指導を行う。
- ⑫ 体育祭、文化祭などの行事において主体的に生徒が取り組み、自己肯定感や帰属意識の醸成を図る。
- ⑬ 部活動等の課外活動において生徒の主体性、協働性を高める指導を行う。
- ⑭ 生徒の安全意識を向上させるために、日常的に交通安全指導等を行い、事故防止を図る。
- ⑮ 他者を尊重する態度を身に付けさせるために、SNSに関する指導、対話についての指導を日常的に行う。

目標4 「学校力の強化」のための組織的學校運営の強化

- ⑯ 経営企画室と分掌業務の連携を適切に行い、学校の課題を解決するために、迅速な対応をすることに努める。また、計画的かつ効果的な予算の配分と適正な執行を行う。
- ⑰ 企画調整会議をはじめとする諸会議の時間を短縮するため、ペーパーレスを継続し内容の事前確認を徹底する。また会議の回数についても今後見直しを行う。
- ⑱ 教育相談、特別支援教育等の自立支援に関する研修を行い、相談体制の組織化を図る。
- ⑲ 外部人材の活用を積極的かつ組織的に実施することで、学校全体の対応力を高める。
- ⑳ ホームページの更新を頻繁、出前授業などを積極的に行うなど広報活動を組織的に実施することで、地域からの信頼を高め募集倍率の向上につなげる。
- 21 近隣の小中学校への学習支援や地域ボランティア活動を組織的に実施することで、地域との連携を深め、地域に根差し、地域に貢献する学校づくりを推進する。
- 22 ライフ・ワークバランスのより高い調和を目指し、業務の見直し、改善を行う。

4 数値目標

目標1

- ① 授業におけるグループワークなどの主体的活動の導入率 87%
- ② 一人1台端末の活用率 87%
- ③ 実用英語技能検定3級以上

1年生	40%
2年生	55%
準2級合格者	25名
- ④ 長期休業中等の補習・講習 45講座
- ⑤ 総合的な探究の時間における連携先 6団体

目標2

- ⑥ 指導計画の作成（見直し） 1回
- ⑦ 1年次の学年全体での進路行事 10回
- ⑧ ジョブキャンプへの参加率 98%
- ⑨ 模擬試験の分析会 2回
- 各教科の模試等の分析（3教科） 1回
- ⑩ 進路部からの保護者への情報発信（3学年合計） 15回

目標3

- ⑪ 累積指導回数 300回
- 生命に関わる重大事故 0件
- ⑫ 生徒の行事満足度 85%
- ⑬ 部活動加入率 95%
- 部活動満足度 80%
- ⑭ 校門での安全指導 学期中毎日
- ⑮ SNSについての指導（3学年延べ回数） 30回以上

目標4

- ⑯ 自律経営予算にかかるセンター執行率 60%
- ⑰ 企画調整会議の1回あたりの時間 50分以内
- ⑱ 教育相談・特別支援教育についての委員会 14回
- ⑲ 外部人材による講演、進路指導 20回
- ⑳ ホームページ更新回数（ひと月） 20回
- 募集倍率（推薦） 2.5倍
- 募集倍率（一般） 1.20倍
- 21 地域行事・部活動等への参加 20件
- 22 月45時間を超える在校時間超過の人数（延べ） 120人